

## 平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 86 (当初計画: No. 81)

東北 森林管理局

取組名	森林作業道作設技術向上のための林業事業体育成に向けた取組 (継続)
流域名	米代川流域 (米代西部)
分類番号	ア-11・イ-15・エ-19
実施箇所及び実施日	秋田県北秋田市「北秋田市交流センター」 平成25年12月5日 (木)
取組の背景及び必要性	健全な森林づくりの基盤である森林作業道について、作設指針に基づき、丈夫で簡易な森林作業道作設技術を習得するための取組を行う必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組】 平成23年度から事業体を対象とした路網作設勉強会並びに現地検討会を実施してきたが、平成24年度は県や市、町の担当者も交えて実施した。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 米代西部署・米代東部署・上小阿仁支署・米代川フォレスターチームとの共催により、秋田県や関係市町村及び林業事業体と連携して、森林作業道作設指針等の再確認を行ったほか、国有林からは、これまでの森林作業道の作設状況写真(83枚)の説明及び検証を行った。</p> <p>また、秋田県からは、民有林における森林作業道の現況及び森林内の道づくりの説明があったほか、林業事業体(3社)からは、作設に当たっての問題点や工夫していることなどを発表していただきながら解決策などを探った。</p>
国有林担当部局・役割	米代東部森林管理署、上小阿仁支署、米代西部森林管理署各機関等と連携した林業事業体の育成
連携協働相手先・役割	秋田県・関係市町村・林業事業体 森林作業道作設指針に沿った森林作業道作設技術の習得
取組の結果、反響、今後の課題等	60名の参加。現況写真による検討会について、多くの写真を見て検証ができるので解りやすいとの意見があった。今後は、県、市町村、事業体からも写真の提供を受けて検証を行いたい。
PRの実施状況及びその期待する効果	地域における多くの林業関係者が参加することにより、森林作業道作設指針に即した路網整備の普及及び定着が図られる。

【 参 考 資 料 】

取 組 名	森林作業道作設技術向上のための林業事業体育成に向けた取組 (継続)
-------	--------------------------------------

平成 25 年度森林作業道作設検討会の様子



## 平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 87 (当初計画: No. 82)

東北 森林管理局

取組名	間伐の推進と木材利用の促進 (継続)
流域名	米代川流域 (米代西部)
分類番号	ウ-16・カ-24
実施箇所及び実施日	米代西部森林管理署管内 平成25年度
取組の背景及び必要性	森林の健全な育成管理を行うには、適正な間伐の推進と木材利用の促進が課題となっている。 また、端材等を利用した木質バイオマスについてのPR不足についても懸念される。
取組の内容	<p>【これまでの取組】 森林吸収源対策等の間伐推進・小径木等間伐材の安定供給・各種工事への木材利用促進・木質バイオマスのPRについて、継続した取組を行ってきた。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 ①計画的な間伐推進等のため、藤里町と森林整備推進協定を締結し共同施業団地を設定した。 ②各種工事での木材利用を促進するため、治山・林道工事で積極的に木材を使用してPRに努めた。</p>
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 計画的な事業実行・木材利用PR・木質バイオマスPR
連携協働相手先・役割	藤里町・治山林道工事請負事業体等 間伐推進のための計画策定・積極的な木材利用
取組の結果、反響、今後の課題等	共同施業団地設定により、これまで間伐材の搬出ができなかった箇所からの搬出が可能となる。今後は、さらなる間伐の推進と木材利用促進のための取組について模索したい。
PRの実施状況及びその期待する効果	間伐の推進による木材利用の促進と木質バイオマスについての理解及び活用。

【 参 考 資 料 】

取 組 名	間伐の推進と木材利用の促進（継続）
-------	-------------------

大又沢治山工事における木材利用の様子



割山沢林道新設工事における木材利用の様子



## 平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 88 (当初計画: No. 83)

東北 森林管理局

取組名	地域と連携した「風の松原」保全管理の取組（継続）
流域名	米代川流域（米代西部）
分類番号	カ-32
実施箇所及び実施日	能代市後谷地国有林 155 林班外 通称「風の松原」 平成25年4月21日（日）ボランティア大会 平成25年6月20日（木）～25日（火）薬剤散布
取組の背景及び必要性	クロマツ海岸林「風の松原」を松くい虫被害から守ろうとする地域の意識が高く、関係者が連携して被害対策を行う必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組】 国・県・市が連携して「風の松原」での松くい虫一斉防除作業を行ってきたほか、「風の松原を守る市民ボランティア大会」についても関係機関と連携して支援を行ってきた。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 ①秋田県山本地域振興局・能代市と連携して同一時期に松くい虫防除のための薬剤散布等を行った。 ②秋田県や能代市、ボランティア団体と連携して、毎年開催されている「風の松原を守る市民ボランティア大会」の支援を行った。</p>
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 県・市・ボランティア団体との調整と松くい虫防除対策の実施
連携協働相手先・役割	秋田県山本地域振興局・能代市・ボランティア団体 各機関と連携した松くい虫防除対策の実施
取組の結果、反響、今後の課題等	継続的な取組により、他の地域と比較して、松くい虫被害が抑えられていることを地域住民が理解している。 今後も継続した取組が必要である。
PRの実施状況及びその期待する効果	関係機関と地域住民が一体的な取組を行うことにより、「風の松原」の保全に対する意識の向上を期待。

【 参 考 資 料 】

取 組 名	地域と連携した「風の松原」保全管理の取組（継続）
-------	--------------------------

「風の松原を守る市民ボランティア大会」の様子



## 平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 89 (当初計画: No. 84)

東北 森林管理局

取組名	地域ボランティア及び関係機関と連携した登山道整備の取組 (継続)
流域名	米代川流域 (米代西部)
分類番号	カ-32
実施箇所及び実施日	二ツ森 平成25年6月24日 (月) 標柱建て替え 小岳 平成25年6月27日 (木) 標柱建て替え
取組の背景及び必要性	白神山地世界遺産地域内の二ツ森・小岳は登山者が多く、歩道脇からの灌木・笹などによる歩行の妨げ箇所があることから、歩道に覆い被さっている枝や笹の除去を行い登山者の安全を図る必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組】</p> <p>署OBを主体とするフォレストボランティア等と連携して、二ツ森・小岳の登山道に覆い被さっている立木の枝等を剪定ばさみにより除去し、登山者の安全な通行を確保してきた。</p> <p>【平成25年度の取組内容】</p> <p>①森林保護員 (グリーンサポートスタッフ) により二ツ森登山道に覆い被さっている立木の枝等を剪定ばさみで除去した。</p> <p>②登山者などから要望がでていた小岳登山道の立木の枝等の除去については、豪雨被害による林道決壊で中止とした。</p> <p>③二ツ森・小岳山頂に老朽化した標柱の建て替えを行った。</p>
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 立木の枝等除去作業と標柱の建て替え
連携協働相手先・役割	関係機関及び地域ボランティア (豪雨被害により中止)
取組の結果、反響、今後の課題等	関係機関や登山者から要望が出ていた登山道整備や標柱の立て替えを行ったことで、地元要望に対する対応が評価されている。引き続きの取組が必要である。
PRの実施状況及びその期待する効果	登山道整備を行うことにより、無断伐採の予防を図るとともに、多くの人々が安全・快適に世界遺産にふれあう場として整備を図る。

【 参 考 資 料 】

取 組 名	地域ボランティア及び関係機関と連携した登山道整備の取組 (継続)
-------	-------------------------------------

ニツ森標柱建て替えの様子



小岳標柱建て替えの様子





## 平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 90 (当初計画: No. 85)

東北 森林管理局

取組名	関係機関と連携した白神山地世界遺産地域の情報発信(継続)
流域名	米代川流域(米代西部)
分類番号	カ-27
実施箇所及び実施日	米代西部森林管理署ホームページ 平成25年度
取組の背景及び必要性	広く一般市民から秋田県側白神山地へのアクセスについて問い合わせがあることから、県・市町と連携して情報を提供する必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組】 秋田県山本地域振興局及び関係市町と連携して、林道等の状況把握を行いながら当署HPへ道路状況を掲載してきた。 また、関係する市や町のHPへリンクさせることにより、広く情報を共有できるようにした。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 ①昨今の登山ブームにより登山者が増え、管内の林道・県道・町道など白神山地へのアクセスについて問い合わせが多いことから、これまでと同様に、関係する県・市町と連携して道路状況の把握を行いながら署HPへの掲載を行った。 ②世界遺産登録20周年事業など取りまとめた情報について、関係する市町のHPとリンクさせることにより広く情報の提供を行った。</p>
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 国有林林道の状況把握と情報提供
連携協働相手先・役割	県・関係市町 県道、市町村道の状況把握と情報提供
取組の結果、反響、今後の課題等	林道状況等の問い合わせが少なくなったことから、ホームページへの掲載効果が続いているものと思われる。今後についても、状況把握に努めながらホームページの更新を図りたい。
PRの実施状況及びその期待する効果	関係機関との連携による情報発信により、各種問い合わせに対して共通の情報提供を実施

【参考資料】

取 組 名 関係機関と連携した白神山地世界遺産地域の情報発信（継続）

署ホームページにより情報提供

東北森林管理局

米代西部森林管理署

白神山地アクセス情報

平成25年11月13日 現在

米代西部森林管理署管内の主だった山岳と路線の状況

山 岳 名	主な路線(管理主体)	通 路 状 況
ニツ森	町道真瀬線(八幡町)	降雪により通行不可
＊	広城野幹林道青杉線(八幡町)	降雪により通行不可
真瀬岳	町道真瀬線(小幡町)	降雪により通行不可
＊	真瀬林道(米代西部森林管理署)	降雪により通行不可
＊	中の笠林道(米代西部森林管理署)	降雪により通行不可
泊岳・金山	水沢山林道(八幡町)	降雪により通行不可
長堀内岳	岳林道(米代西部森林管理署)	降雪により通行不可
＊	四十八滝林道(米代西部森林管理署)	降雪により通行不可
小 岳	柏毛林道(米代西部森林管理署)	林道決壊及び降雪により通行不可
＊	大海林道(米代西部森林管理署)	林道決壊及び降雪により通行不可
＊	小島林道(米代西部森林管理署)	林道決壊及び降雪により通行不可

※現在閉鎖している状況ですので、通行の際は管理主体の方へ最新の情報をお問い合わせください。

各路線の延長

- ニツ森
  - 町道真瀬線 6.1 Km
  - 広城野幹林道青杉線 12.7 Km
- 真瀬岳
  - 町道真瀬線 6.1 Km
  - 真瀬林道 0.4 Km
  - 中の笠林道 9.1 Km
- 泊岳
  - 水沢山林道 7.2 Km
- 長堀内岳
  - 岳林道 3.9 Km
  - 四十八滝林道 5.1 Km
- 小 岳
  - 柏毛林道 21.0 Km
  - 大海林道 6.7 Km
  - 小島林道 2.5 Km

管理主体の連絡先と秋田県内の関連情報ホームページ  
(各ページジャンプします)

雄英町	0145-78-2111(代表)	<a href="http://www.town.furukawa.akita.jp/">http://www.town.furukawa.akita.jp/</a>
八幡町	0145-76-2111(代表)	<a href="http://www.town.happo.akita.jp/water.php?pid=0">http://www.town.happo.akita.jp/water.php?pid=0</a>
能代市	0145-89-2164(森林水産課)	<a href="http://www.city.noshiro.akita.jp/index.html">http://www.city.noshiro.akita.jp/index.html</a>
東北森林管理局 (白神情報システム)	018-836-2014(受付窓口)	<a href="http://www.tokai-rikyo.go.jp/index.html">http://www.tokai-rikyo.go.jp/index.html</a>
鶴立森林センター	0145-79-1000(代表)	<a href="http://www.mnys.maff.go.jp/tohoku/xyo/hosuzato/index.html">http://www.mnys.maff.go.jp/tohoku/xyo/hosuzato/index.html</a>

## 平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 91 (当初計画: No. 86)

東北 森林管理局

取組名	防災機能を有する海岸林と治山施設PRの取組(継続)
流域名	米代川流域(米代西部)
分類番号	カ-31
実施箇所及び実施日	海岸林「風の松原」 平成25年9月24日(火)
取組の背景及び必要性	森林教室や現地案内等において、海岸防災林や消波ブロックなどにより住民の暮らしが守られていることをPRするとともに、治山施設の重要性を理解してもらう必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組】 インターンシップや各種研修等において、海岸防災林造成事業により設置された消波ブロック等の治山施設について、その必要性をPRしてきた。</p> <p>【平成25年度の取組内容】</p> <p>①これまでと同様に、地元小学生を対象とした森林教室において海岸林及び治山施設のPRを行った。</p> <p>②署長による地元ボランティア団体を対象とした「松くい虫被害発生後の国有林の取り組みについて」講演において、海岸林の必要性などについてPRを行った。</p> <p>③署のホームページにて、治山施設(工事)の写真掲載を行ってPRを行った。</p>
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 海岸防災林造成事業のPR
連携協働相手先・役割	海岸林周辺小学校 海岸林及び治山施設の視察等
取組の結果、反響、今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸林内において森林教室を行うことにより、海岸林の必要性を感じさせることができた。</li> <li>・森林整備体験については、年度前に小学校等に対して意向把握をするなどの対応が必要と思われる。</li> </ul>
PRの実施状況及びその期待する効果	海岸防災林造成事業などの紹介により、森林管理署が行っている治山事業への理解が深まるとともに、森林整備の必要性について周知できる。

【 参 考 資 料 】

取 組 名	防災機能を有する海岸林と治山施設 P R の取組（継続）
-------	------------------------------

海岸林における森林教室の様子



署長による講演の様子

